

単元名: 説明を比べる 生徒の実態		単元の目標
【NRTの結果より】 ○正答率 ・読む能力・・・54.3 (本学級) 51.5 (全国) ・説明的な文章を読むこと・・・62.5 (本学級) 56.6 (全国) ○小問分析 (数値は通過率における全国との比較) ・段落の構成の理解 -11% ・敵語補充 -6% ・具体例の読み取り +19% ・段落の構成の理解 +12% ・細部の読み取り -1% ・要点の読み取り +7% 【1学期定期テストより】 ○説明的文章の読解問題の正答率 ・書き抜き、選択肢で答える問題・・・62% ・自分の言葉で説明する問題・・・54.1% 本校の1年生は課題に対してとても意欲的に取り組むことができる。そして、多くの生徒が文章を正確に読み取ったり、適切に自分の思いや考えを表現できるようになりたいと強く思っている。1学期の『笑顔という魔法』という説明的文章では、文末表現に注目して文章の中心的部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けたり、要約したりする学習を行った。小学校6年時でも『ぼくの世界、君の世界』で文章の要旨を捉えることを学習している。しかし、上記の結果をみると、事実と意見を読み分けることができても、文章の構成について理解することや、文章中の言葉を使って思いや考えをまとめたり、説明したりすることを苦手としていることがわかる。目的や条件に応じて大切な情報を選択し整理して説明することができていないという実態がある。		明の仕方を比べながら、それぞれの特徴や内容を明らかにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・必要に応じて質問をしたり、自分の考えとの共通点や相違点を整理したりすることができる。(話すこと・聞くこと) ・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを図表を用いて根拠を明確にして書くことができる。(書くこと) ・文章の構成や展開、表現の特徴について捉えて読み、自分の考えを持つことができる。(読むこと) ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
		パフォーマンス課題
		プレゼンテーション 小学校6年生に中学校生活を説明しよう …そのために 三編の説明文を読み、構成や展開の仕方、表現や図表の使い方を学んで自分の考えをもとう
		言語活動
		・プレゼンテーションを聞き、質問や助言をすること ・図表などを用いた説明の文章を書くこと ・文章と図表などの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと ・指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること

単元のデザイン

	1時間目	2～5時間目	6～8時間目	9～12時間目	13時間目	14～16時間目
学習課題	・説明に説得力を持たせるために必要なことは何だろう ・新出漢字、語句を確認しよう	『電子レンジの発想』 ・構成を捉えよう ・電子レンジの加熱の仕組みを図式化して説明しよう ・構成、表現の特徴や工夫点、図表の効果を考え自分の考えをもとう	『言葉のゆれを考える』 ・問いかけている文と答え、根拠を探そう ・調査結果をグラフを使って説明しよう ・構成、表現の特徴や工夫点、図表の効果を考え自分の考えをもとう	『花の形に秘められたふしぎ』 ・5つの大段落の要点を捉えよう ・文章を手がかりに、小学生の質問に答えよう ・構成、表現の特徴や工夫点、図表の効果を考え自分の考えをもとう	読み比べをし、プレゼンテーションに生かせる手法を考えよう	プレゼンテーション 「小学六年生に中学校生活を説明しよう」
学習内容	・構成や展開、表現の工夫 ・明確な根拠 ・図表の効果的な活用	・要点・構成の捉え方 ・必要な情報を整理し、図式化して説明すること ・文末、比喩など表現の工夫 ・図表の効果	・文末に注意して事実と意見を読み分けること ・グラフを使って説明すること ・読み手に寄り添うような表現 ・図表の効果	・構成を捉えること ・情報を整理し、図表を使って説明すること ・図表の効果	・三編の説明文の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えをもつこと	・相手を意識して説明すること ・構成や表現の工夫 ・図表の効果的な活用 ・自分の意見との共通点、相違点を考えながら聞くこと
授業後の生徒の姿	・主体的に説明文を読んだり、書いたりしようとする ・新出漢字の読み書きができるようになり、文中の語句の意味を捉えられる	・文章の中心的部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けたり要約したりすることができる ・読み取ったことを図にして説明できる ・図表の効果的な使い方を実感できる ・文章の表現の仕方や特徴について自分の考えをもつことができる	・文章の中心的部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けたり要約したりすることができる ・グラフから読み取ったことを説明できる ・図表の効果的な使い方を実感できる ・文章の表現の仕方や特徴について自分の考えをもつことができる	・文章の中心的部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けたり要約したりすることができる ・情報を整理し、図表を効果的に使って伝えたいことを説明できる ・文章の表現の仕方や特徴について自分の考えをもつことができる	・文章の構成や展開、表現の特徴についての工夫や効果について自分の考えをもつことができる	・相手を意識して構成や表現を工夫し、図表を効果的に活用して説明することができる ・友達の意見を聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができる

単元名「説明を比べる」 ・教材 「電子レンジの発想」「言葉のゆれを考える」「花の形に秘められたふしぎ」					
生徒の実態 【県学力・学習状況調査より】 平均正答率 岡部中53.0 深谷市54.2 埼玉県55.2					
		岡部中	深谷市	埼玉県	県との差
問題形式別	選択式	52.5	53.4	54.8	-2.3
平均正答率	短答式	55.5	56.2	56.9	-1.4
	記述式	46.3	57.8	53.0	<u>-6.7</u>
(-11.5)					
【1学期定期テストより】 ○説明的文章の読解問題の正答率 ・書き抜き、選択肢で答える問題・・・62% ・自分の言葉で説明する問題・・・54.1%					
上記の調査やテストから、本校の1年生は、文章中から書き抜いたり、選択肢の中から必要な情報を見分けたりすることはできて、文章中の言葉を使って筆者の思いや考えをまとめたり、説明したりすることを苦手としていることがわかる。目的や条件に応じて大切な情報を選択し、整理して説明することができていないという実態があるといえる。1学期に「笑顔という魔法」という説明的文章では、文末表現に注目して文章の中心的な部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けたり、要約したりする学習を行ったが、まだまだ確実な力として身につけていない。文章を読み取り、筆者の思いや考えを「説明する」力をも身につけていく必要を感じる					
単元のゴール 資料を正確に読み取り、筆者が伝えたい内容を、図や表を適切に用いて説明することができる					
単元の目標 ・目的や必要に応じて、文章中から必要な情報を読み取り、説明しようとしている (国語に対する関心・意欲・態度) ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて大切な情報を選択し整理することができる (読むこと) ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)					
パフォーマンス課題 プレゼンテーション 名人技を活用し、中学校生活を小学校6年生に説明しよう					
言語活動 ・読むことの指導として、読み取ったことを説明する ・図表が文章の中心的な部分、または付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認させるなどして、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取らせる ・図表を用いて自分で説明する					

時間	学習課題	学習内容	授業後の生徒の姿
1	◎説得力のある説明文にするために必要なことは何だろう 目指せ 説明名人! ～小学校6年生に中学校生活を説明しよう～	○説得力のある説明文の書き方 ・相手・目的意識(名人技①) ・構成や展開の工夫(名人技②) ・明確な根拠(名人技③) ・表現の工夫(図表の活用)	・説明文に対する興味関心を高めている ・主体的に説明文を読んだり、説明しようとしていたりしている
2 ～ 6	『電子レンジの発想』 ◎説明練習Ⅰ 段落を要約しよう ◎文章の展開をとらえ、筆者の考えを読み取ろう ～名人技②を学ぶ～ ◎筆者の考えとその根拠を読み取り、相手を意識した説明に工夫をとらえよう ～名人技③④を学ぶ～ ◎説明練習Ⅱ 電子レンジの加熱の仕組みを説明しよう	○要約の仕方 ・キーワード・キーセンテンス・繰り返される言葉・題名に関わる言葉に注目 ○説明文の構成(名人技②) ・序論→本論→結論 ○相手(名人技①) 中学生 ○説明の工夫(名人技④) ・比喩・図表の活用・身近な例	・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けたり、要約したりすることができている ・一般的な説明文の構成をとらえることができている ・根拠を明確にし、説明したい相手を意識した比喩や図表が読み手の理解を助けることを理解できている ・必要な情報を選択、整理し、図式化して説明することができている
7 ～ 9	『言葉のゆれを考える』 ◎説明練習Ⅲ 調査結果をグラフの数値を使って説明しよう ～名人技①④を使って～ ◎文章の構成や展開の仕方をとらえ、筆者の考えとその根拠を読み取ろう～名人技②③を学ぶ～	○目的を意識することによって、調査結果のどの数値に注目して説明すべきか、判断できる ○構成や展開の工夫(名人技②) ・序論→本論→結論 ○筆者の考えとその根拠(名人技③)	・目的を意識して調査結果のどの数値に注目して説明すべきか判断できている ・前教材での既習事項を活用して、より自力で、より短時間で文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けることができている
10 ～ 14	『花の形に秘められたふしぎ』 ◎文章の構成や展開の仕方をとらえ、筆者の考えとその根拠を読み取ろう～名人技②③を学ぶ～ ◎説明練習Ⅳ 花畑の疑問に答えよう～目指せ 説明名人! 名人技①②③④を使って～ ◎説明練習Ⅴ 花畑の疑問に答えよう～目指せ説明名人! 名人技①②③④を使って(文章編)～	○構成や展開の工夫 ・序論→本論→結論(名人技②) ○筆者の考えとその根拠(名人技③) ○説得力のある説明の仕方 ・名人技①②③④の活用 ○接続詞や指示語の効果的な使い方	・前教材での既習事項を活用して、より自力で、より短時間で文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けることができている ・前教材の既習事項を活用し、必要な情報を整理したり、図表を使ったりして説明することができる ・接続詞や指示語を効果的に用いて、説明文を書くことができている
15 ～ 18	プレゼンテーション ◎「小学6年生に中学校生活を説明しよう」	○既習事項の活用	・集めた材料を取捨選択したり、関連を考えて分類したり、因果関係などに基づいて整理したりしている
読書生活の構築へ 科学的な読み物コーナーを図書室に開設 日常生活へ 今回学んだ「名人技」を他教科のレポートや総合的な学習時間に生かしていく			